

日本のトップ製薬企業を目指して

- 2011年総括と2012年計画 -

中外製薬株式会社
代表取締役社長 兼 CEO
永山 治

2012.2.1/2

将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

2011年度の総括

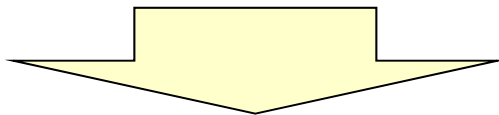
東日本大震災による影響

■ 生産活動への影響

- 被災による損失（特別損失）：47億円
 - 中外製薬工業宇都宮工場と一部委託先が被害を受ける
 - ✓ 宇都宮工場は8月より完全復旧

■ 営業活動への影響

- 一部製品について2011年10月末まで出荷調整を実施
 - 状況説明のため通常のMR活動が著しく制限される
- 新製品発売等各種イベントの延期・中止
- 国内売上高：対前同4.4%減、対計画6.6%の未達



2011年11月（出荷調整終了）より通常の営業活動に

2011年12月期決算

東日本大震災の影響により、売上・利益ともに減少

(億円)	2010	2011	対前同	対計画
売上高	3,795	3,735	-1.6%	-5.5%
うち国内	3,429	3,279	-4.4%	-6.6%
うち海外	366	456	+24.6%	+3.6%
営業利益	662	624	-5.7%	-13.3%
売上比	17.4%	16.7%		
純利益	414	352	-15.0%	-4.9%
売上比	10.9%	9.4%		

研究開発での進展ー承認と開発開始品目

順調な進捗～2012年以降の売上寄与へ～

承認品目
 新規開発品目

新規開発品目

エディロール 骨粗鬆症			ゼローダ 胃がん			ハーセプチン 胃がん			ミルセラ 腎性貧血			アクテムラ sJIA (米国)			RG7090 大うつ病		
2011年1月			2月			3月			4月			5月			6月		
			WT4869 骨髄異形成症候群			WT4869 固形がん											
アクテムラ 関節リウマチ (台湾)			RG3637 気管支喘息			ペガシス B型肝炎											
ペガシス/コペガス 肝硬変			RG3638 非小細胞肺癌			アバスチン 乳がん											
タルセバ 膝がん			アクテムラ sJIA (欧州)			セルセプト 小児腎移植						ハーセプチン 乳がん (術前補助)			カイトリル 放射線照射に伴う 消化器症状		
7月			8月			9月			10月			11月			12月		

5

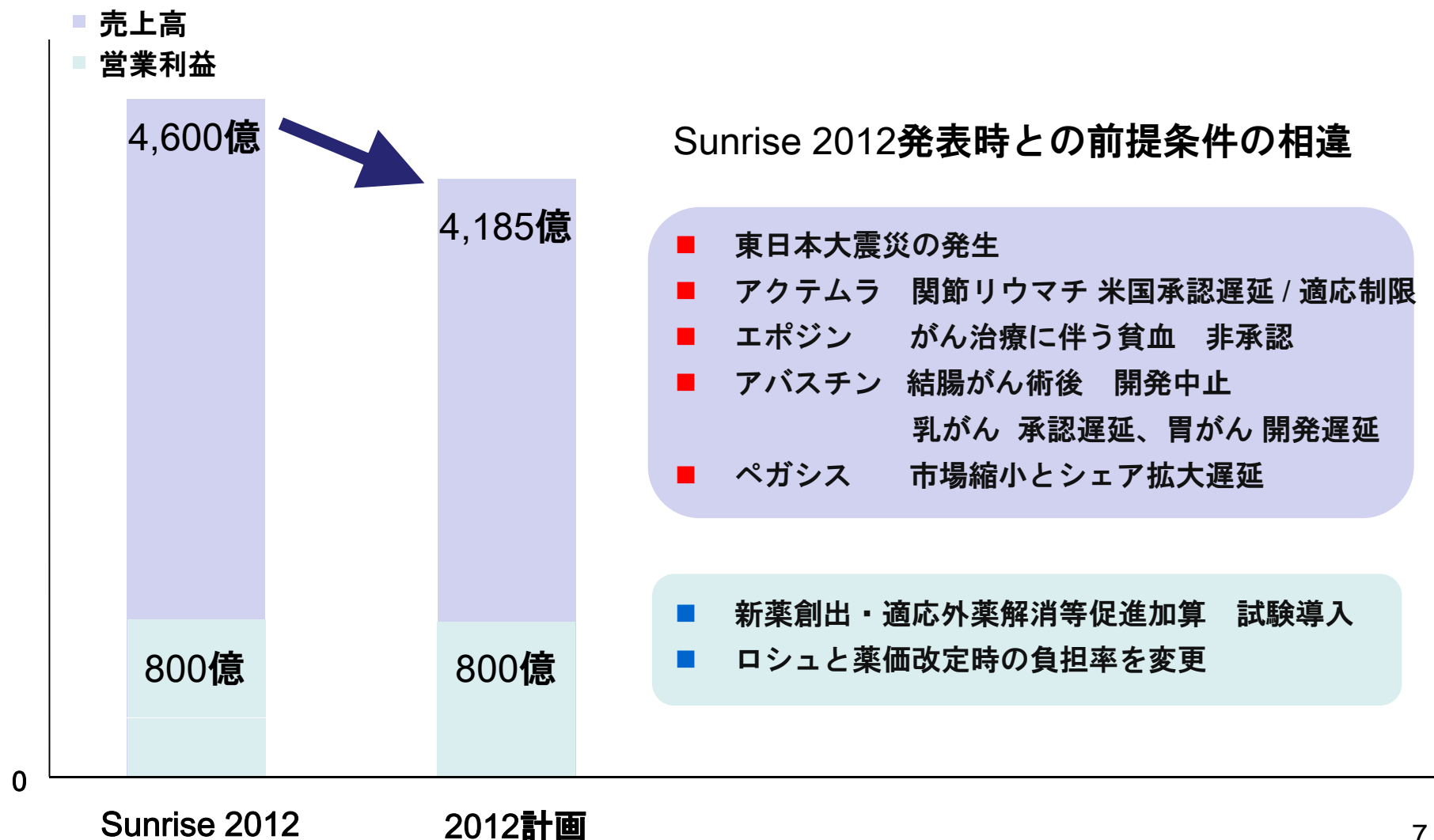
2012年12月期計画

**新製品、適応拡大製品の順調な浸透を見込み
薬価改定の影響を吸収し、増収増益を予想**

(億円)	2011	2012計画	前同比
売上高	3,735	4,185	+12.0%
製商品売上高	3,636	4,037	+11.0%
その他の営業収入	99	148	+49.5%
営業費	977	1,000	+2.4%
売上比	26.2%	23.9%	
研究開発費	559	600	+7.3%
売上比	15.0%	14.3%	
営業利益	624	800	+28.2%
売上比	16.7%	19.1%	
当期純利益	352	490	+39.2%
売上比	9.4%	11.7%	

Sunrise 2012前提との比較

Sunrise 2012発表時と状況が大きく変化



営業体制の強化

医療の質向上と標準化（均てん化）への貢献を通じて
Sunrise 2012 目標の実現をめざす

オンコロジー領域

最先端の医療レベルに対応できる体制を構築

→ 研究・開発・営業が連携することで日本のがん医療に貢献する
コンサルティングプロモーションを当社のスタイルとして定着させる

Sunrise 2012 目標の実現

プライマリー領域販売組織の再編

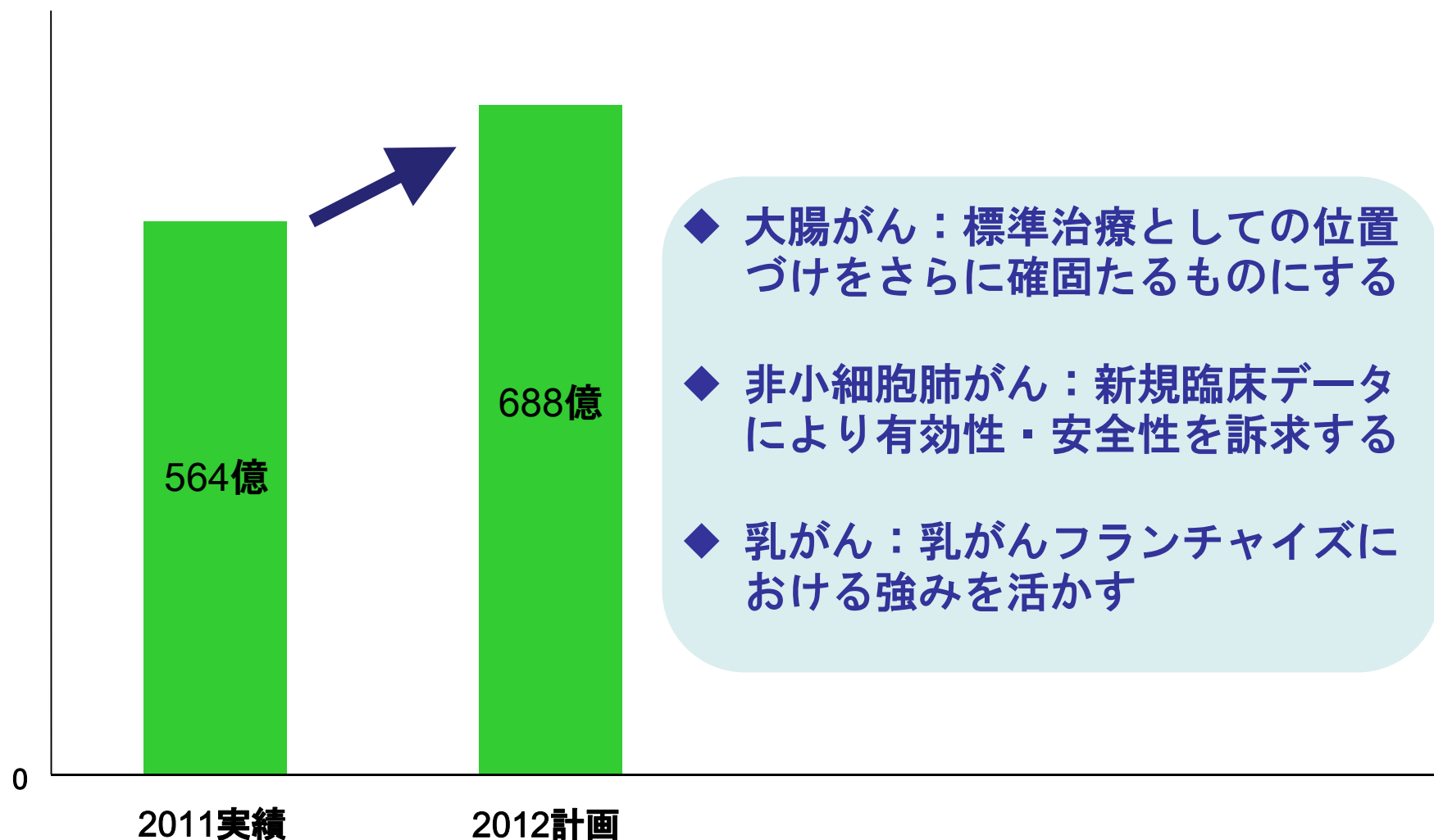
- 効果的な市場浸透を実現
（アクテムラ、ミルセラ、エディロール）
- ・ プライマリーMR全員がリウマチ、腎、骨領域を幅広くカバーする体制を敷く

学術本部の新設

- 市販後のエビデンス創出機能の強化
- ・ メディカルプラン（製品育成策）を推進
 - ・ 学会発表を通じた学術情報の普及
 - ・ MRへの一貫した学術教育機能の発揮

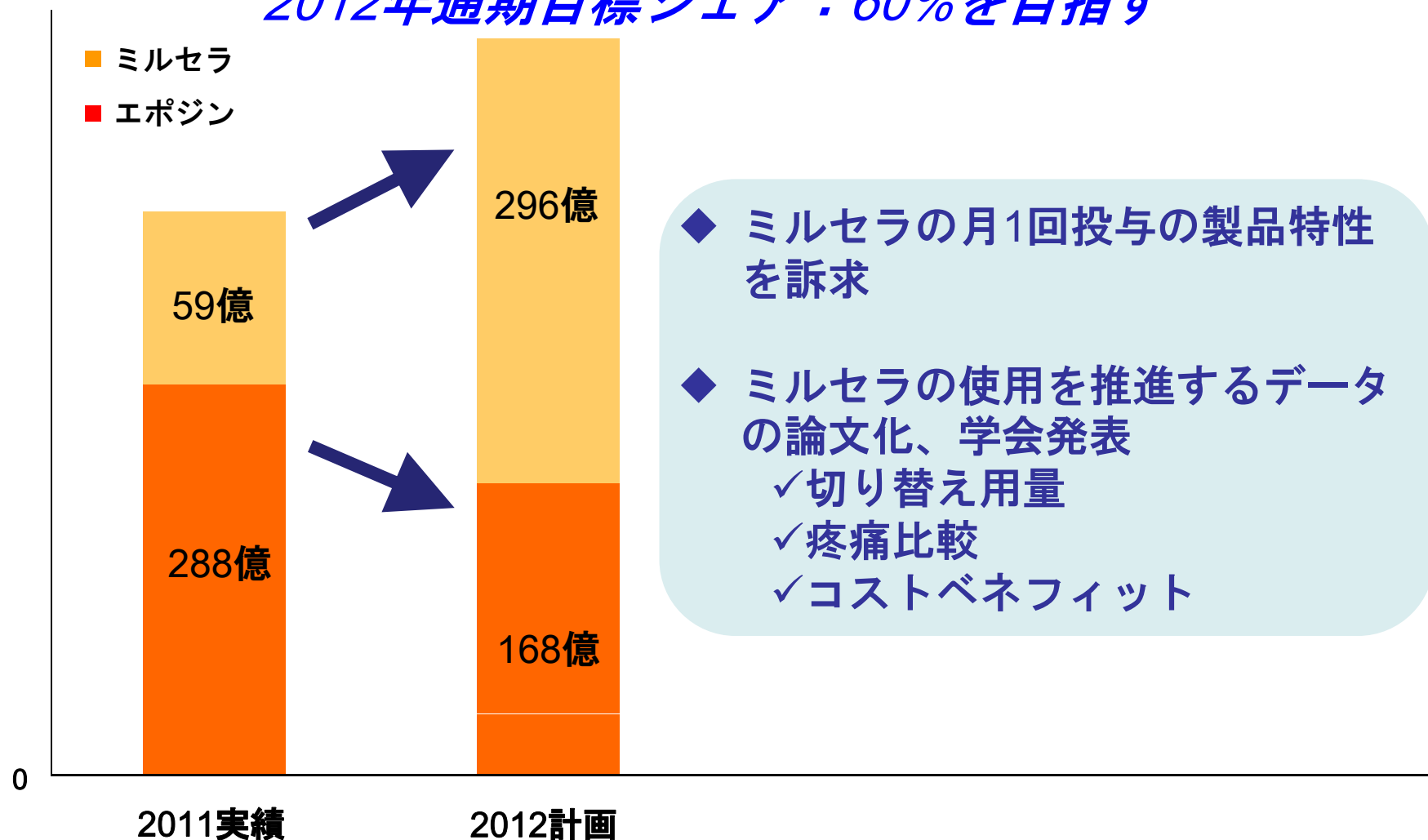
アバスチン計画について

薬価改定の影響を吸収し、前同+22.0%増を目指す



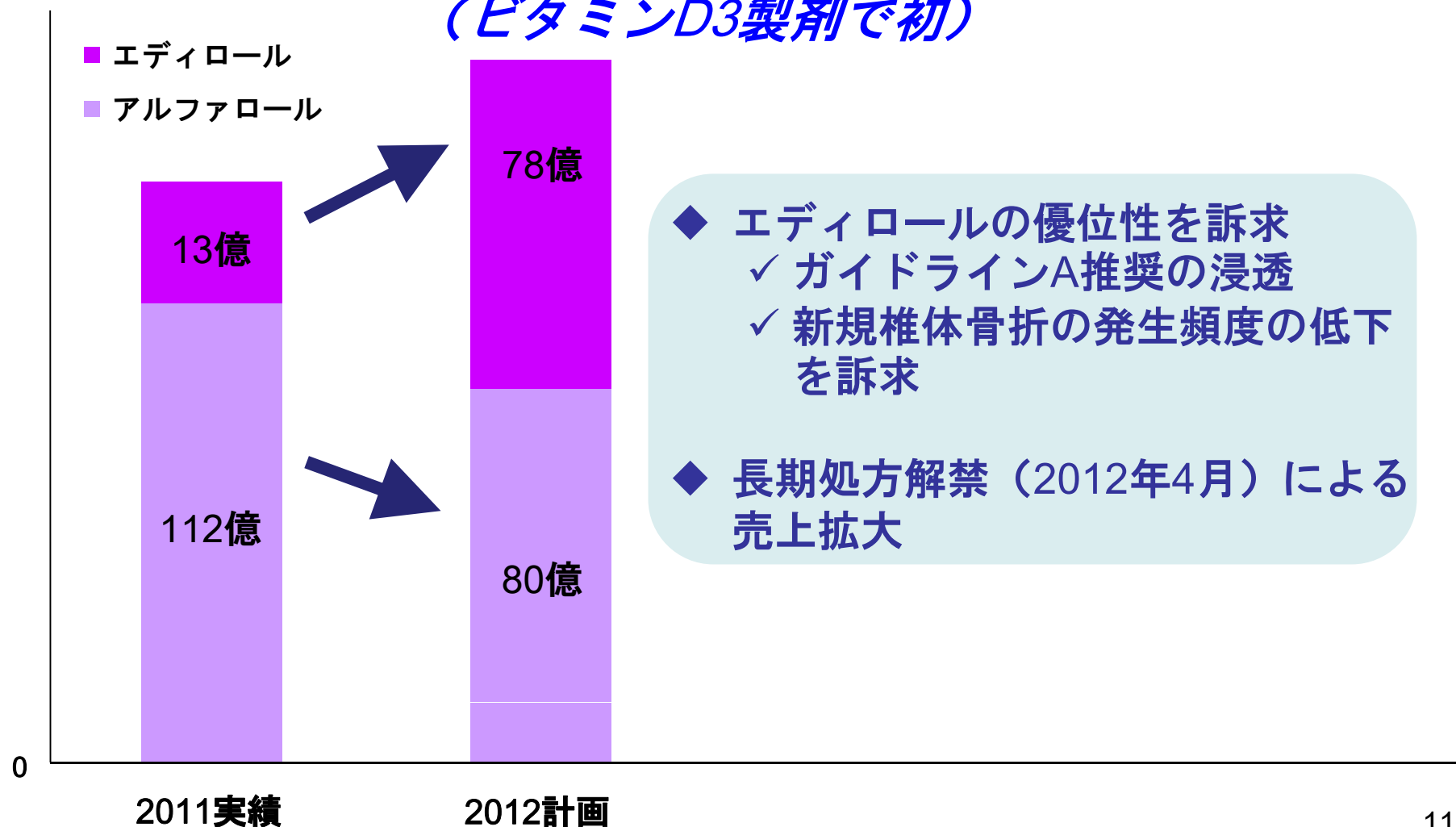
エポジン/ミルセラ計画について

*ESA製剤市場でのトップシェア奪還へ
2012年通期目標シェア：60%を目指す*



アルファロール/エディロール計画について

骨粗鬆症治療ガイドラインA推奨を訴求 (ビタミンD3製剤で初)



アクテムラ（RA）今後の売上イメージ

＜今後の成長ドライバー＞

米国の1stライン承認（2012年予定）
皮下注製剤の承認（日、米、欧）
（2013年予定）

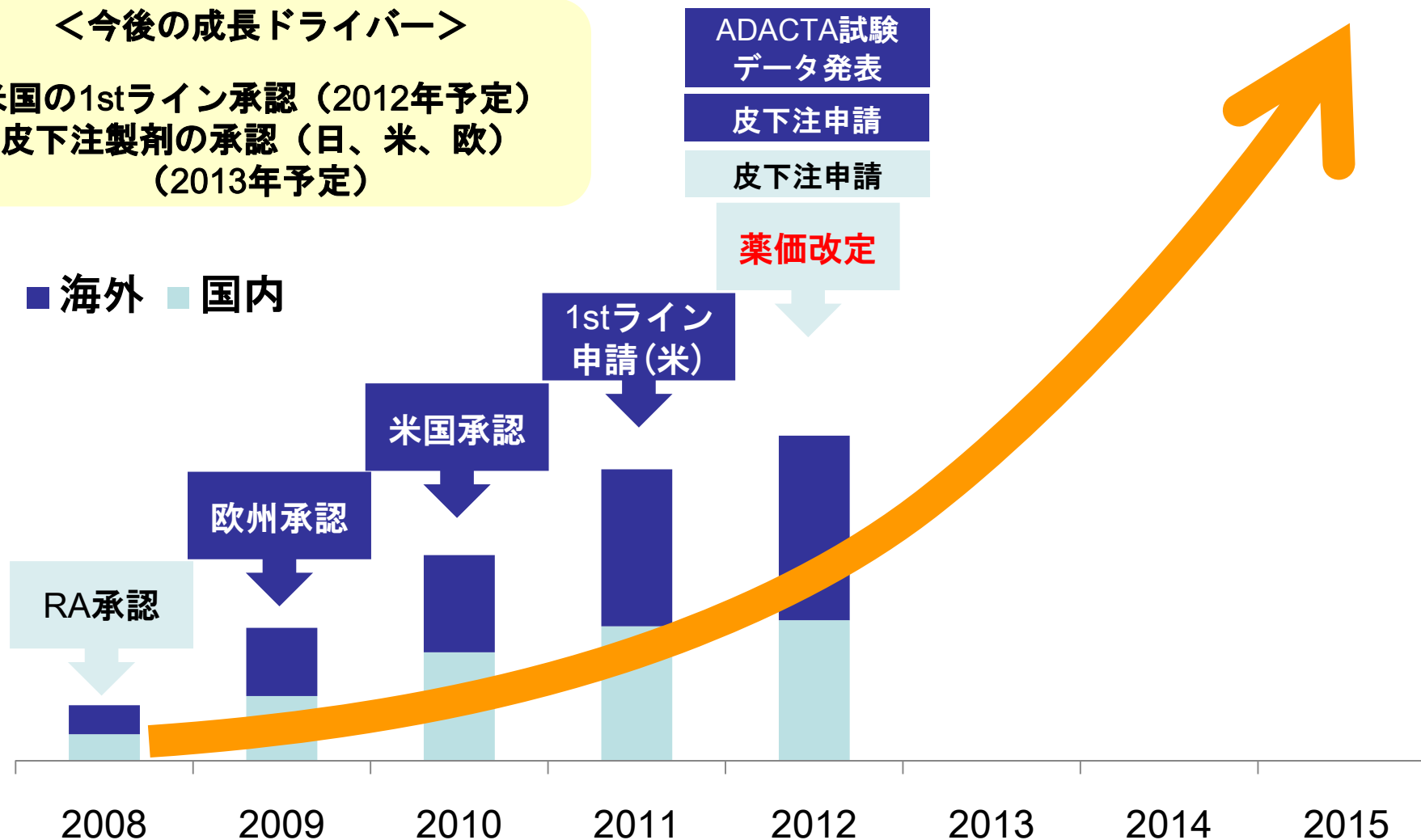
ADACTA試験
データ発表

皮下注申請

皮下注申請

薬価改定

■ 海外 ■ 国内



PHCによるプロジェクトの推進

ロシュ・グループの強みを活かしてPHCに基づく開発

ロシュ導入プロジェクト

ロシュ
ダイアグノスティックス

中外プロジェクト

PHCによる主な開発パイプライン

2012年2月1日現在

P3

ペルツズマブ
(乳がん)

T-DM1
(乳がん)

GA101
(非ホジキンリンパ腫)

P2

タルセバ
(非小細胞肺癌[1次])

AF802
(非小細胞肺癌)

P1

lebrikizumab
(気管支喘息)

MetMAb
(非小細胞肺癌)

GC33
(肝がん)

CKI27
(固形がん)

CIF
(固形がん)

PA799
(固形がん)

WT4869
(MDS)

WT4869
(固形がん)

Zelboraf*
(メラノーマ)

*P1準備中

革新的な抗体創薬技術の活用

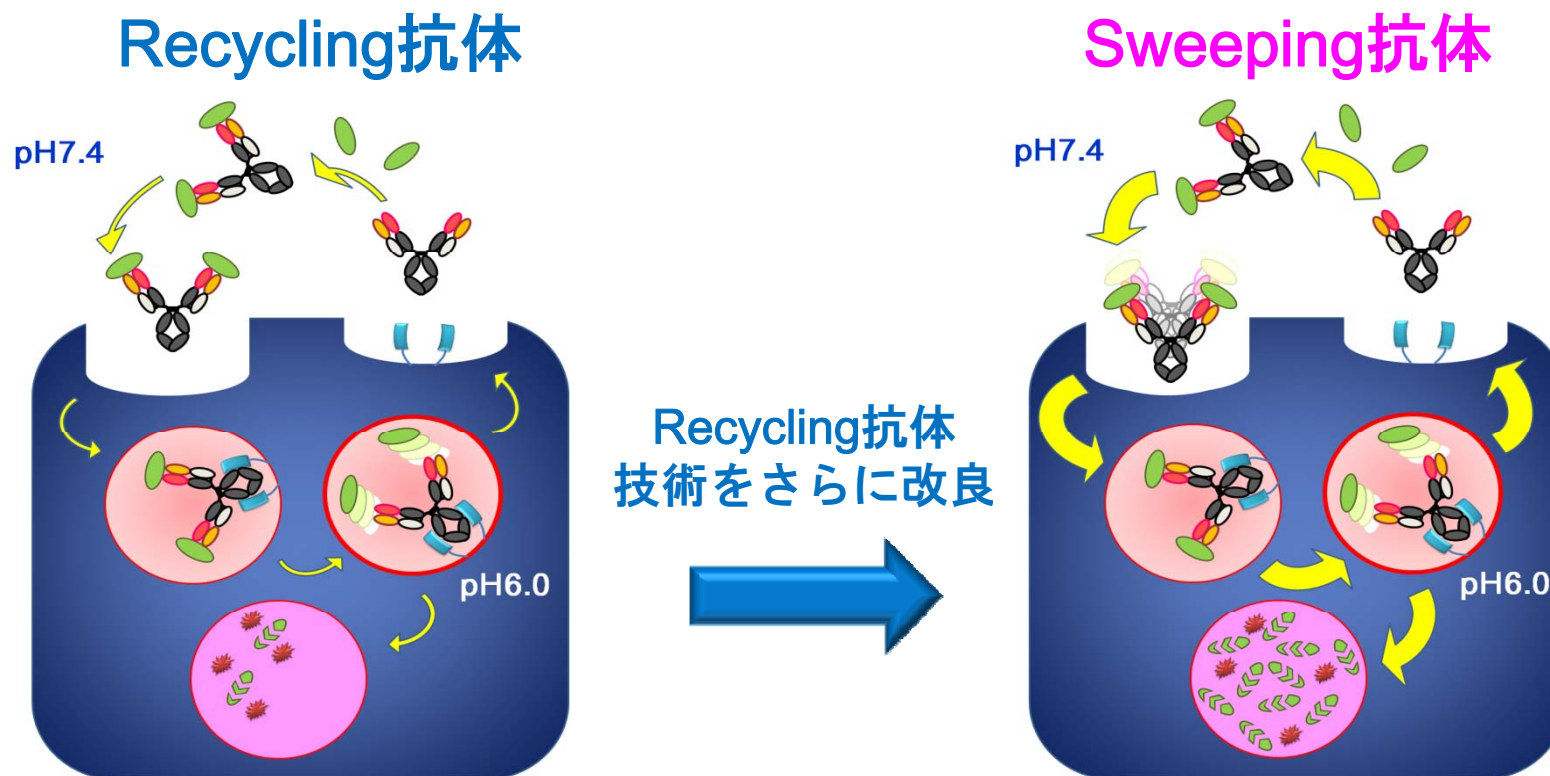
Chugai Pharmabody Research Pte. Ltd. 概要

<設立目的>

- Recycling抗体、Sweeping抗体技術に特化し、新規抗体創製を行う
- がん、免疫・炎症疾患関連の標的抗原を中心に、年間5～7の抗体創製に取り組み、5年間で20以上の抗体創製を目指す

項目	内容
所在地とその理由	シンガポール PharmaLogicals社で整備した研究基盤があり、PostDoc、研究技術員を確保しやすい環境である
要員数	約60名（中外からの出向者：約15名、現地採用：約45名）
資本金	150万シンガポールドル
事業年数	5年（予定）
運営費（5年間）	125億円（予定）

Recycling抗体、Sweeping抗体の紹介



Recycling抗体（細胞内で抗原を解離して細胞外に戻り抗原と繰り返し結合できる抗体）を改良し、
Recycling抗体の回転スピードを早めることで、より多くの抗原を分解し、
血液中から抗原を除去（Sweep）することができる Sweeping抗体を開発

中外ーロシュ アライアンスについて

■ 株式保有比率について

期間	持株比率の上限
2002年10月1日～2007年9月30日	50.1%
2007年10月1日～2012年9月30日	59.9% (2008年6月：公開買い付けにより ロシュが当社株式の59.9%取得)
2012年10月1日以降	制限なし

■ 経営に関する取り決め

- 当社はロシュ・グループ入り後も自主経営を継続、ロシュはこれを尊重
- 今後も当社の東証一部上場維持に協力

2011年12月期 連結決算概要

中外製薬株式会社
常務執行役員 CFO
板谷 嘉夫

2012.2.1/2

2011年12月期（通期） 連結決算概要

■ 製商品売上高の低迷により、減収減益

- 売上高3,735億円（▲1.6%）、営業利益624億円（▲5.7%）
- タミフルは備蓄一巡により大幅減
- タミフルを除く製商品は、震災影響による国内の低迷を海外の伸長が打ち消して微減。その他の営業収入は一時金等により大幅増

■ 特別損失65億円

- 東日本大震災による影響47億円

■ 期末配当20円（年間40円）、配当性向61.8%

損益の概要 1-12月実績

【億円】	2010年 1-12月	売上 (%)	2011年 1-12月	売上 (%)	増減	%
売上高	3,795		3,735		▲60	▲1.6
製商品売上高	3,756		3,636		▲120	▲3.2
タミフルを除く	3,574		3,549		▲25	▲0.7
タミフル	182		87		▲95	▲52.2
その他の営業収入	39		99		+60	+153.8
営業利益	662	17.4	624	16.7	▲38	▲5.7
営業外収益	24		23		▲1	▲4.2
営業外費用	35		12		▲23	▲65.7
経常利益	651	17.2	636	17.0	▲15	▲2.3
特別利益	6		0		▲6	▲100.0
特別損失	0		65		+65	-
当期純利益	414	10.9	352	9.4	▲62	▲15.0

●製商品売上高(タミフルを除く)
国内 ▲91億円
海外 +66億円

●タミフル* ▲95億円

●その他の営業収入 +60億円
GC33導出一時金
アクテムラ関連収入の増加 等

●営業利益 ▲38億円

●営業外収支の増加 +22億円

●特別損失 +65億円
災害による損失 +47億円
資産除去債務影響 +10億円

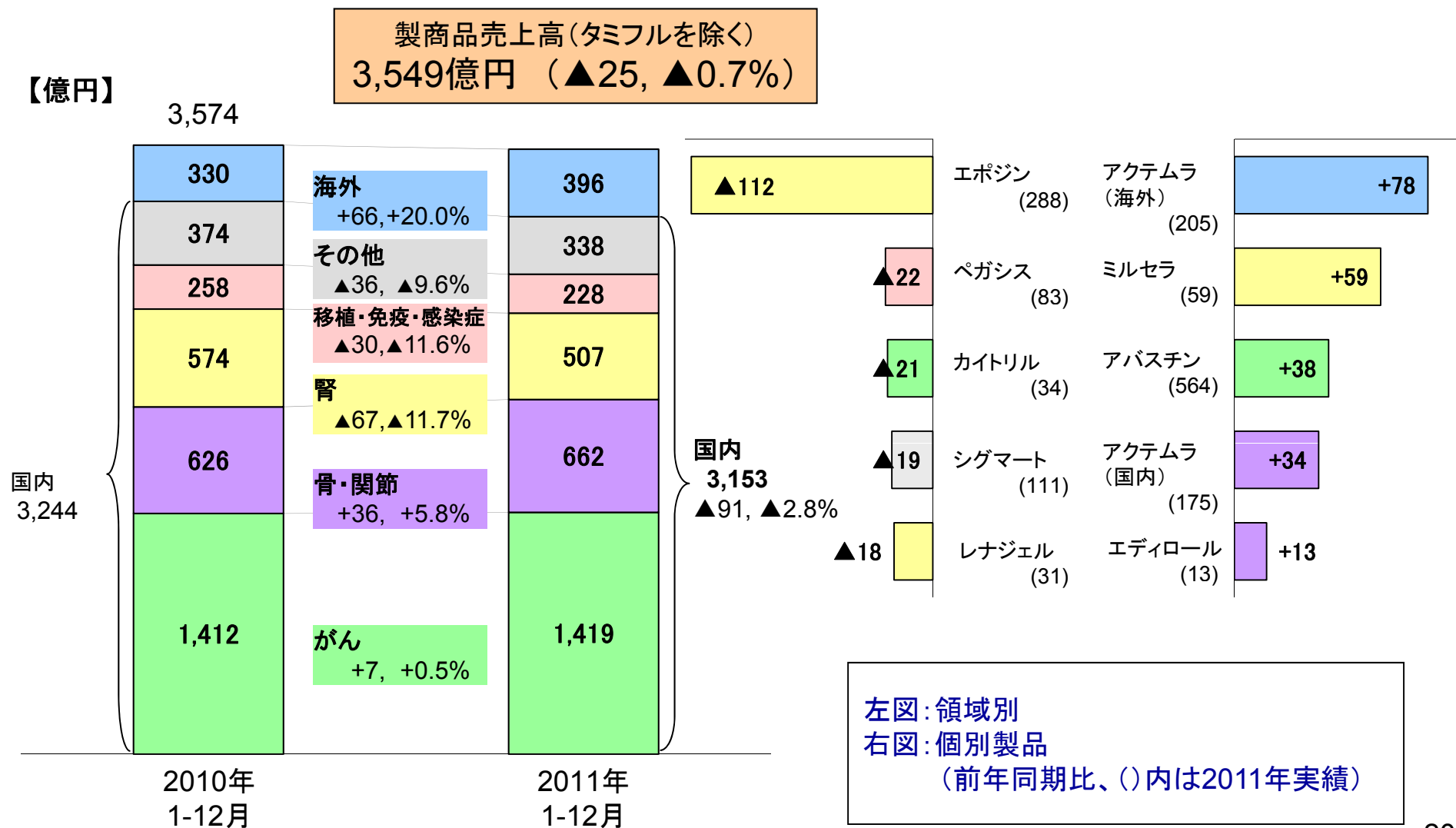
期中平均レート(円)

	2010年1-12月	2011年1-12月
CHF	84.17	89.86
EUR	116.32	110.92

* タミフル 内訳

	2010年1-12月	2011年1-12月	増減
通常	16億円	54億円	+38億円
行政備蓄等	166億円	33億円	▲133億円

製商品売上高（タミフルを除く）の増減内訳 1-12月実績



タミフルの売上状況

【億円】		決算期売上														シーズン 売上	定 点 観 測 数 (百万人)		
		2005年12月期		2006年12月期		2007年12月期		2008年12月期		2009年12月期		2010年12月期		2011年12月期				2012年12月期	
		1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月			1-6月	7-12月
通 常	2004-05	232																246	1.47
	2005-06		119	99														218	0.92
	2006-07				37	50												87	1.01
	2007-08						52	14										66	0.66
	2008-09								57	110								167	1.27
	2009-10										252	14						266	2.02
	2010-11												2	41				43	1.26
	2011-12														13	80		93	-
	2012-13																13	-	-
通常		351 (+265)		136 (▲215)		102 (▲34)		71 (▲31)		362 (+291)		16 (▲346)		54 (+38)		93 (+39)			

行 政 備 蓄 等	2005-06		2	65														67	
	2006-07				179	189												368	
	2007-08						96	2										98	
	2008-09								11	144								155	
	2009-10										256	106						362	
	2010-11												59	5				64	
	2011-12														28	3		32	
	2012-13																0		
行政備蓄等		2 (+2)		244 (+242)		285 (+41)		13 (▲272)		400 (+387)		166 (▲234)		33 (▲133)		3 (▲30)			

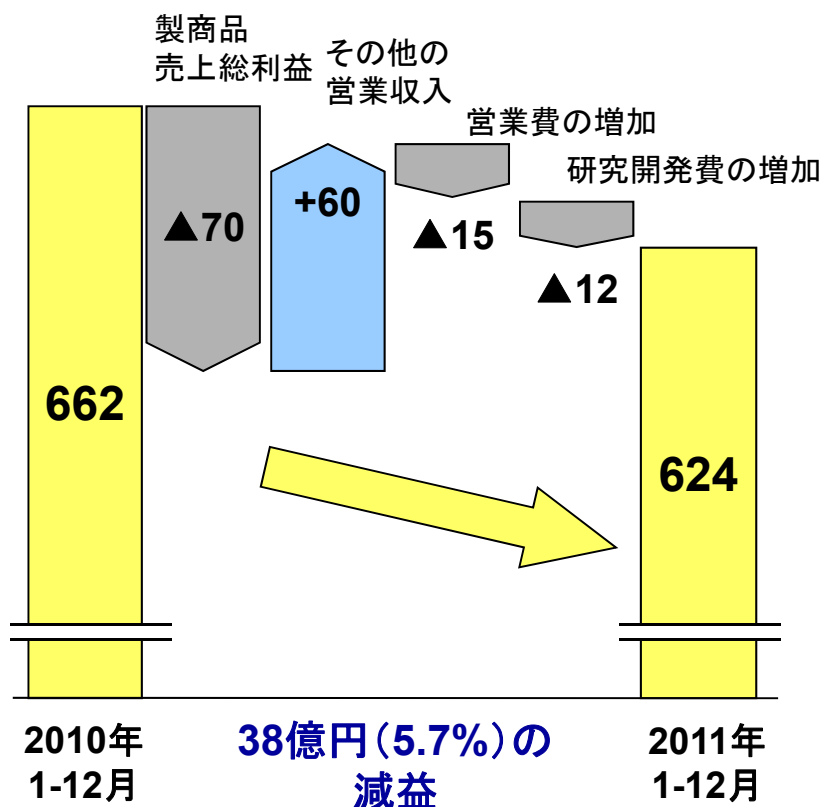
合 計	232	120	163	216	238	148	16	68	254	508	120	61	46	41	83	13
	352 (+266)		380 (+28)		387 (+7)		84 (▲303)		762 (+678)		182 (▲580)		87 (▲95)		96 (+9)	

黄色の網掛けは予想値、()内は前期比

* 国立感染症研究所「感染症発生動向調査」 10月下旬から4月中旬(2009-10シーズンは2009年7月初旬から2010年3月中旬)の合計患者数

営業利益の増減内訳 1-12月実績

【億円】



【億円】	2010年 1-12月	2011年 1-12月	増減	(%)
売上高	3,795	3,735	▲60	▲1.6
売上原価	1,624	1,575	▲49	▲3.0
売上総利益	2,171	2,160	▲11	▲0.5
うち 製商品	2,131	2,061	▲70	▲3.3
うち その他の営業収入	39	99	+60	+153.8
営業費	962	977	+15	+1.6
研究開発費	547	559	+12	+2.2
営業利益	662	624	▲38	▲5.7

- 製商品売上総利益の減少 ▲70億円
行政備蓄用タミフル、エポジンの売上減
- その他の営業収入の増加 +60億円
GC33導出一時金、アクテムラ関連収入 等
- 営業費の増加 ▲15億円
新製品の発売
- 研究開発費の増加 ▲12億円
開発テーマの進展(CSG452、T-DM1等の後期開発移行)

損益の概要 10-12月（第4四半期）実績

【億円】	2010年 10-12月	売上 (%)	2011年 10-12月	売上 (%)	増減	%
売上高	1,034		975		▲59	▲5.7
製商品売上高	1,023		962		▲61	▲6.0
タミフルを除く	1,000		937		▲63	▲6.3
タミフル	23		24		+1	+4.3
その他の営業収入	11		13		+2	+18.2
売上原価	428		421		▲7	▲1.6
売上総利益	606	58.6	554	56.8	▲52	▲8.6
営業費	247		283		+36	+14.6
研究開発費	148		146		▲2	▲1.4
営業利益	211	20.4	124	12.7	▲87	▲41.2
営業外収益	5		19		+14	+280.0
営業外費用	7		18		+11	+157.1
経常利益	208	20.1	125	12.8	▲83	▲39.9
特別利益	6		0		▲6	▲100.0
特別損失	0		▲26		▲26	-
当期（四半期）純利益	134	13.0	81	8.3	▲53	▲39.6

●製商品売上高（タミフルを除く）

▲63億円

ミルセラ +31億円

アクテムラ（国内） +7億円

エディロール +5億円

エポジン ▲45億円

ペガシス ▲10億円

シグマート ▲9億円

●タミフル* +1億円

●その他の営業収入 +2億円

アクテムラ関連収入の増加 等

●営業利益 ▲87億円

* タミフル 内訳

	2010年10-12月	2011年10-12月	増減
通常	2億円	13億円	+11億円
行政備蓄等	21億円	11億円	▲10億円
			23

損益の概要 1-12月実績

【億円】	実績	7月21日修正予想		
	2011年 1-12月	2011年 1-12月	差異	達成率 (%)
売上高	3,735	3,952	▲ 217	94.5
製商品売上高	3,636	3,845	▲ 209	94.6
タミフルを除く	3,549	3,743	▲ 194	94.8
タミフル	87	102	▲ 15	85.3
その他の営業収入	99	107	▲ 8	92.5
売上原価	1,575	1,672	▲ 97	94.2
売上総利益	2,160	2,280	▲ 120	94.7
営業費	977	980	▲ 3	99.7
研究開発費	559	580	▲ 21	96.4
営業利益	624	720	▲ 96	86.7
経常利益	636	731	▲ 95	87.0
当期純利益	352	370	▲ 18	95.1

【億円】	実績	7月21日修正予想		
	2011年 1-12月	2011年 1-12月	差異	達成率 (%)
タミフルを除く製商品売上高	3,549	3,743	▲194	94.8
がん領域	1,419	1,506	▲87	94.2
アバステン	564	624	▲60	90.4
ハーセプチン	259	246	+13	105.3
ノイトロジン	94	101	▲7	93.1
ゼローダ	100	117	▲17	85.5
タルセバ	83	88	▲5	94.3
骨・関節領域	662	690	▲28	95.9
エビスタ	185	175	+10	105.7
アクテムラ	175	199	▲24	87.9
スベニール	130	137	▲7	94.9
エディロール	13	21	▲8	61.9
腎領域	507	589	▲82	86.1
エボジン	288	305	▲17	94.4
ミルセラ	59	124	▲65	47.6
移植・免疫・感染症領域	228	251	▲23	90.8
ベガシス	83	103	▲20	80.6
コペガス	33	44	▲11	75.0
その他領域	338	336	+2	100.6
シグマート	111	116	▲5	95.7
海外	396	372	+24	106.5
アクテムラ	205	197	+8	104.1
ノイトロジン	156	141	+15	110.6

震災影響/税制改正の想定差異

■ 東日本大震災の影響

災害による損失（特別損失）通期実績：47億円

保険金収入の計上（22億円）と修繕費用/減損金額の見直しにより
建物/設備に関する損失が想定を下回る

- 建物・設備の除却、解体、修繕費用等 12億円（うち保険▲22億）
- 棚卸資産損失、生産休止中の固定費等 35億円（うち保険▲8億）

■ 税制改正

以下の要因により一時的な費用増が想定を下回る

- 復興特別法人税の創設
- 新税率適用の時期（想定:2012年→実際:2013年）

為替変動の影響について

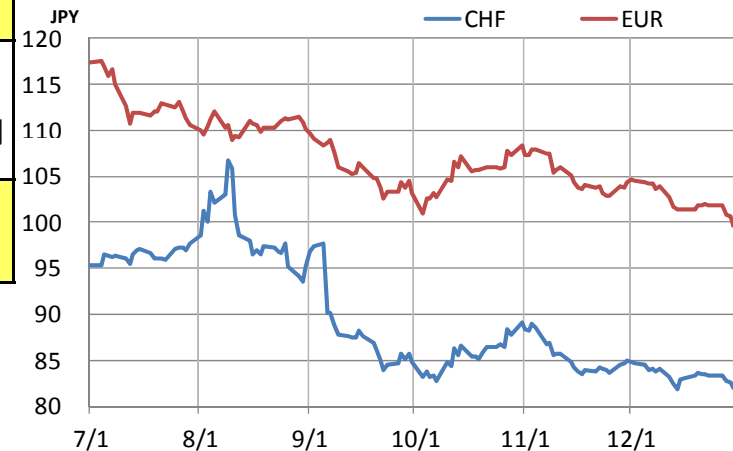
	上期利益影響 (4/21想定レート対比)	下期利益影響 (7/21修正想定レート対比)
売上高	+10億円	▲5億円
	アクテムラ(輸出) +5億円 ノイトロジン(海外) +3億円 その他の営業収入 +1億円	アクテムラ(輸出) ▲2億円 ノイトロジン(海外) ▲2億円 その他の営業収入 ▲1億円
原価・販管費	ロシュ品原価 ▲8億円 海外販社販管費等 ▲2億円	ロシュ品原価 +2億円 海外販社未実現利益等 +3億円
営業利益	▲1億円	±0億円
営業外収支	為替差損益・為替予約 +1億円	為替差損益・為替予約 +8億円
経常利益	±0億円	+8億円

上期は4月21日修正予想、7-12月は7月21日修正予想への影響。いずれも概算。

実績/想定レート*	1CHF	1EUR
4月21日想定(通期)	85.00円	110.00円
上期実績	90.38円	114.86円
7月21日想定(下期)	95.00円	110.00円
下期実績	89.32円	107.04円
参考 通期実績	89.86円	110.92円

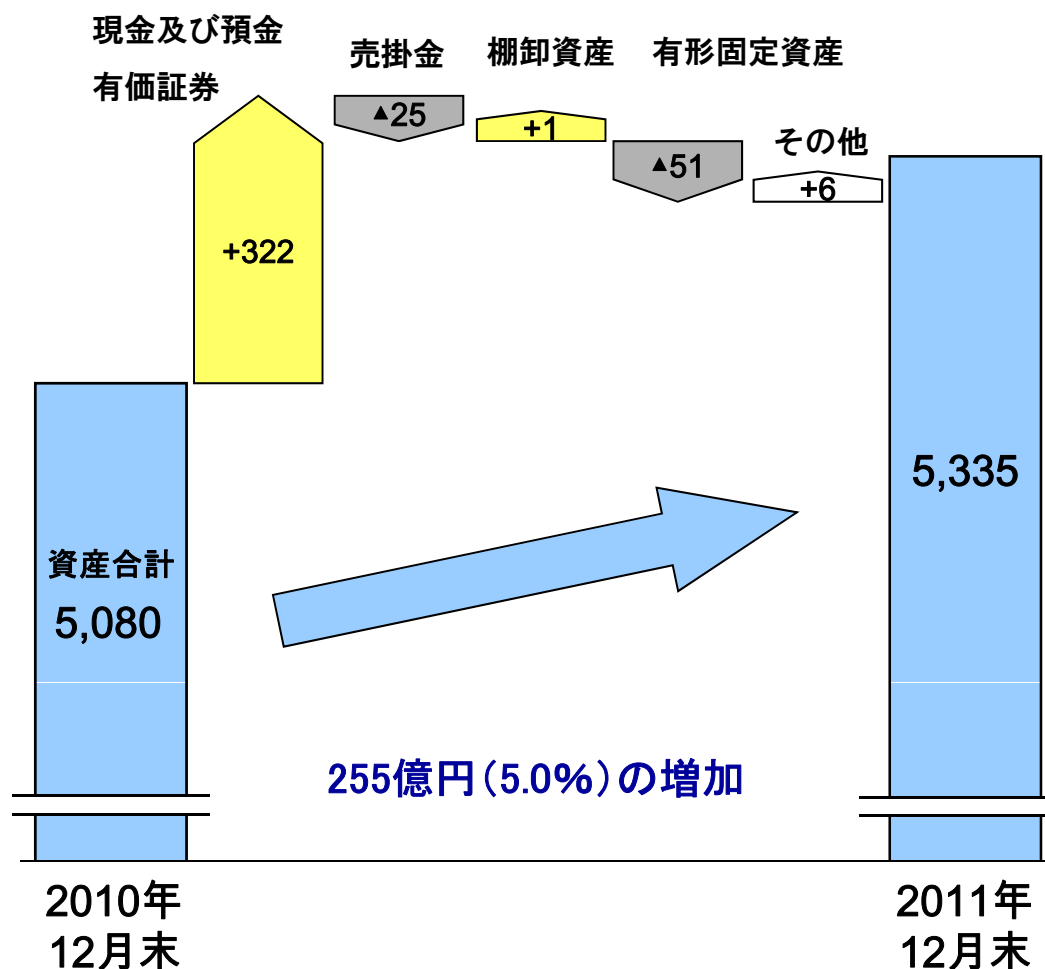
*実績は期中市場平均。4月21日想定レートは期初想定レート。

● (ご参考) 7-12月為替レート推移



貸借対照表/資産の部

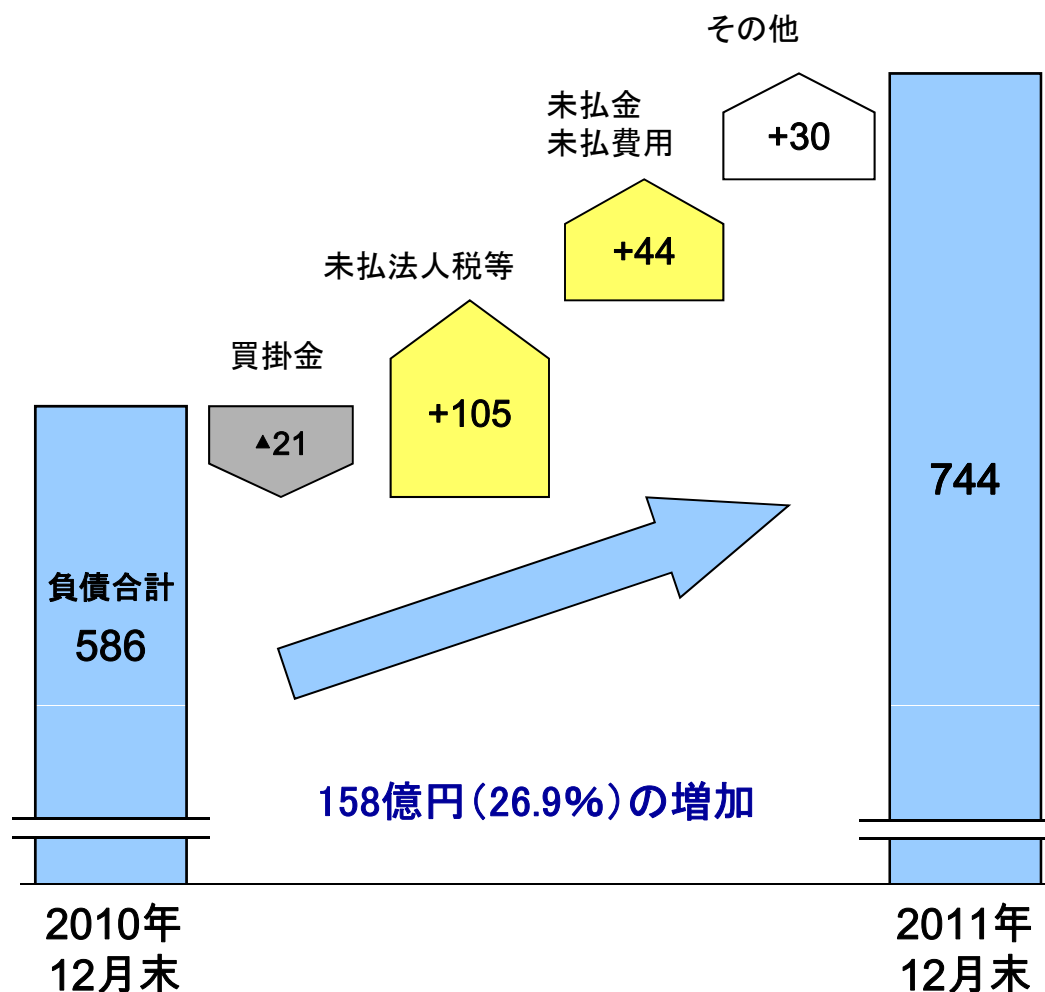
【億円】



●現金及び預金	+310億円
●有価証券	+13億円
●売掛金	▲25億円
●棚卸資産	+1億円
増加要因: 新製品(ミルセラ等)の発売	
減少要因: サイトチェンジ完了(備蓄在庫減)	
●有形固定資産	▲51億円
●その他	+6億円

貸借対照表/負債の部

【億円】

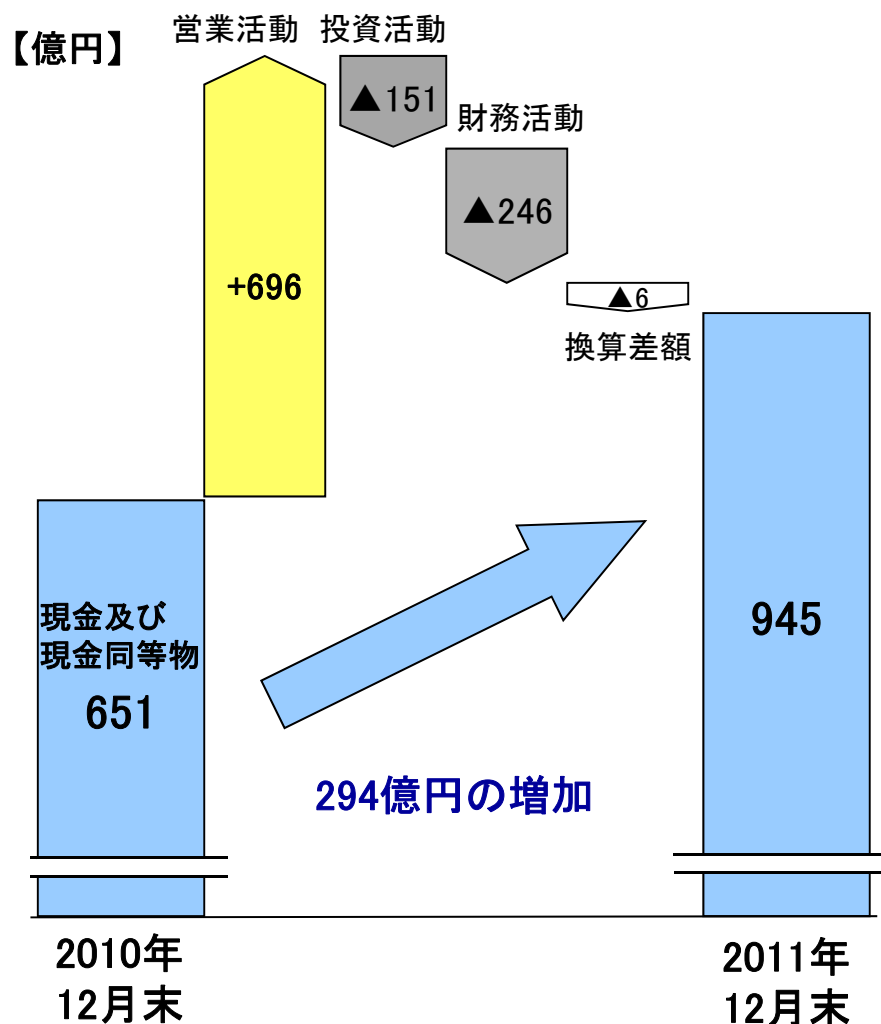


●買掛金	▲21億円
●未払法人税等	+105億円
●未払金	+20億円
●未払費用	+25億円
●その他	+30億円
未払消費税等および賞与引当金の増加	

自己資本比率

2010年12月末	2011年12月末	増減
88.0%	85.6%	▲2.4%pts

キャッシュ・フロー 1-12月実績



●営業活動に伴うキャッシュ・フロー	+696億円
税前当期純利益	+571億円
減価償却費等	+159億円
災害損失	+47億円
運転資本の増加	▲15億円
売上債権の減少	24億円
たな卸資産の増加	▲19億円
仕入債務の減少	▲19億円
保険金の受取	+30億円
災害損失の支払	▲34億円
法人税等の支払	▲118億円
●投資活動に伴うキャッシュ・フロー	▲151億円
定期預金の預入/払戻	▲26億円
有価証券・投資有価証券の取得/売却	▲13億円
固定資産の取得	▲112億円
●財務活動に伴うキャッシュ・フロー	▲246億円
配当金の支払	▲234億円

損益の概要 2012年1-12月予想

【億円】	実績		予想		増減	
	2011年 1-12月	売上 (%)	2012年 1-12月	売上 (%)		
売上高	3,735		4,185		+450	+12.0
製商品売上高	3,636		4,037		+401	+11.0
タミフルを除く	3,549		3,941		+392	+11.0
タミフル	87		96		+9	+10.3
その他の営業収入	99		148		+49	+49.5
売上原価	1,575		1,785		+210	+13.3
売上総利益	2,160	57.8	2,400	57.3	+240	+11.1
営業費	977		1,000		+23	+2.4
研究開発費	559		600		+41	+7.3
営業利益	624	16.7	800	19.1	+176	+28.2
経常利益	636	17.0	805	19.2	+169	+26.6
当期純利益	352	9.4	490	11.7	+138	+39.2

●製商品売上高(後述)
(タミフルを除く) +392億円

●タミフル +9億円

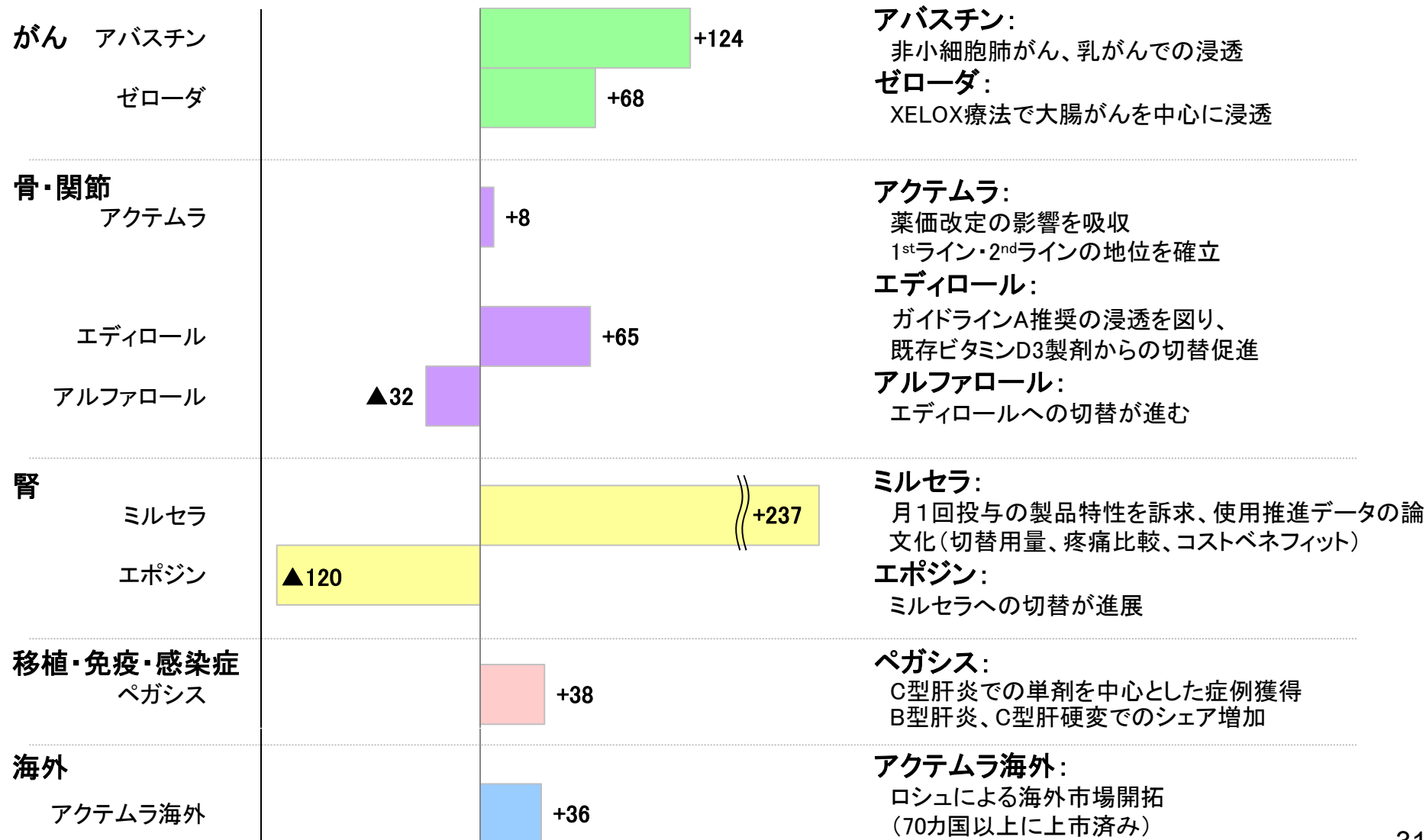
●その他の営業収入 +49億円

●営業利益 +176億円

●当期純利益 +138億円

為替レート	2011年	2012年想定
(円)	1-12月	1-12月
CHF	89.86	85.00
EUR	110.92	109.00

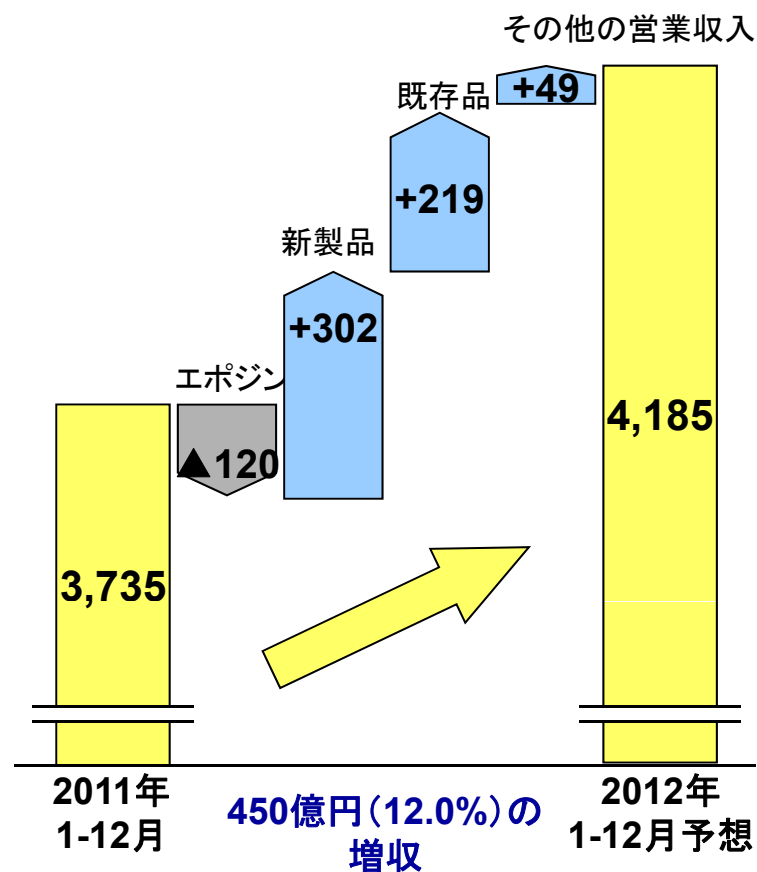
製商品売上高 前同対比増減



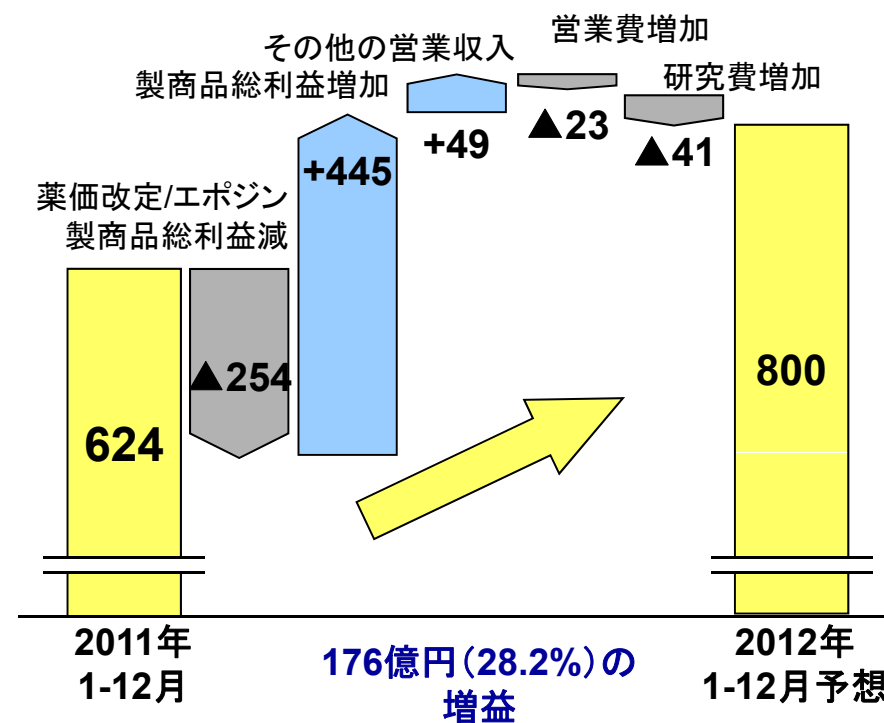
売上高、営業利益の増減

【億円】

売上高



営業利益



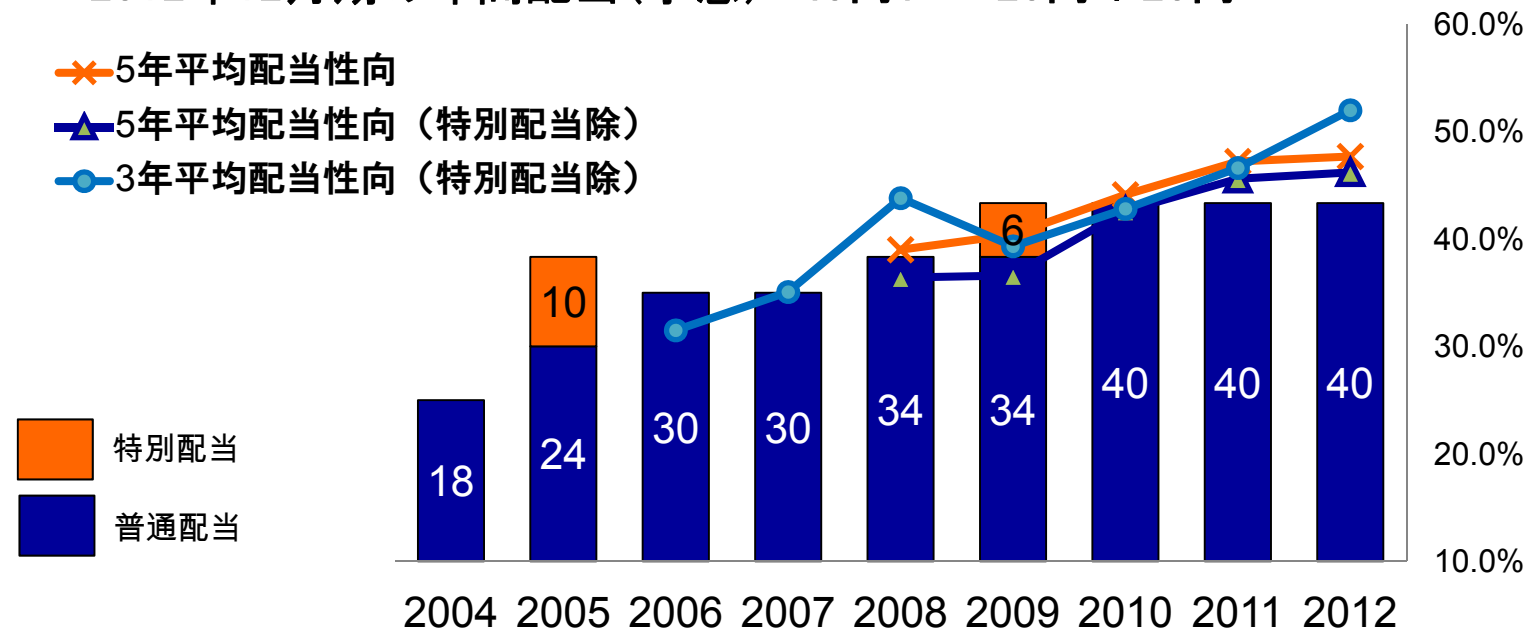
利益配分の方針及び当期・次期の配当

■ 方針

安定的な配当を基本とし、戦略的な資金需要や業績見通しを勘案した上で、平均して40%以上の連結配当性向を目標とする

■ 2011年12月期の年間配当(予定) 40円: 20円+20円

■ 2012年12月期の年間配当(予想) 40円: 20円+20円



開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社
常務執行役員
ライフサイクル マネジメント・マーケティングユニット長
田中 裕

2012.2.1/2

開発パイプライン（2012年2月1日現在）

	Phase I	Phase II	Phase III
がん	CIF/RG7167 - 固形がん CKI27/RG7304 - 固形がん GC33/RG7686 - 肝がん MRA/Actemra - 膝がん (PI/II) PA799 - 固形がん WT4869 - 骨髄異形成症候群 (PI/II) - 固形がん RG3638 (MetMAb) - 非小細胞肺癌	AF802 - 非小細胞肺癌 (PI/II) RG435/Avastin - グリオブラストーマ（再発例） RG1415/Tarceva - 肺癌（1 st line）	RG435/Avastin - 胃がん - 乳がん（アジュバント） - グリオブラストーマ RG1273/pertuzumab - 乳がん RG3502 (T-DM1) - 乳がん GA101 (RG7159)/obinutuzumab - 非ホジキンリンパ腫
骨・関節	SA237 - 関節リウマチ	RG484/Bonviva (oral) - 骨粗鬆症	MRA/Actemra - 関節リウマチ (sc) NRD101/Suvenyl - 腱靱帯付着部症★ RG484/Bonviva (inj) - 骨粗鬆症 (PII/III)
その他	RG1450/gantenerumab - アルツハイマー病 RG3637/lebrikizumab - 気管支喘息 RG7090 (mGluR5) - 大うつ病		CSG452/tofogliflozin - II型糖尿病 RG1678/bitopertin (GLYT1) - 統合失調症

オレンジ:自社品
 ★:2011/10/21からの変更点

開発の状況ーがん領域

導入品

ゼローダ

結腸がんアジュバントにおけるXELOX療法

2011年11月 承認

ヤクルト社による申請

導入品

GA101 (RG7159)

中高悪性度非ホジキンリンパ腫

2011年10月 P3国際共同治験開始

低悪性度非ホジキンリンパ腫

2011年11月 P3国際共同治験開始

開発の状況－ 骨・関節領域

自社品

スベニール（NRD101）

腱靱帯付着部症（上腕骨外側上顆炎、アキレス腱付着部症、膝蓋腱炎、足底腱膜炎）

2011年10月 P3開始

自社品

アクテムラ（US）

関節リウマチ 2011年12月 申請

「TNF阻害剤に対して十分な効果が得られない」との条件の削除を目的とする生物学的製剤追加承認申請書（Supplemental Biologics License Application）をGenentech社がFDAに提出

開発の状況－ 移植・免疫・感染症領域

導入品

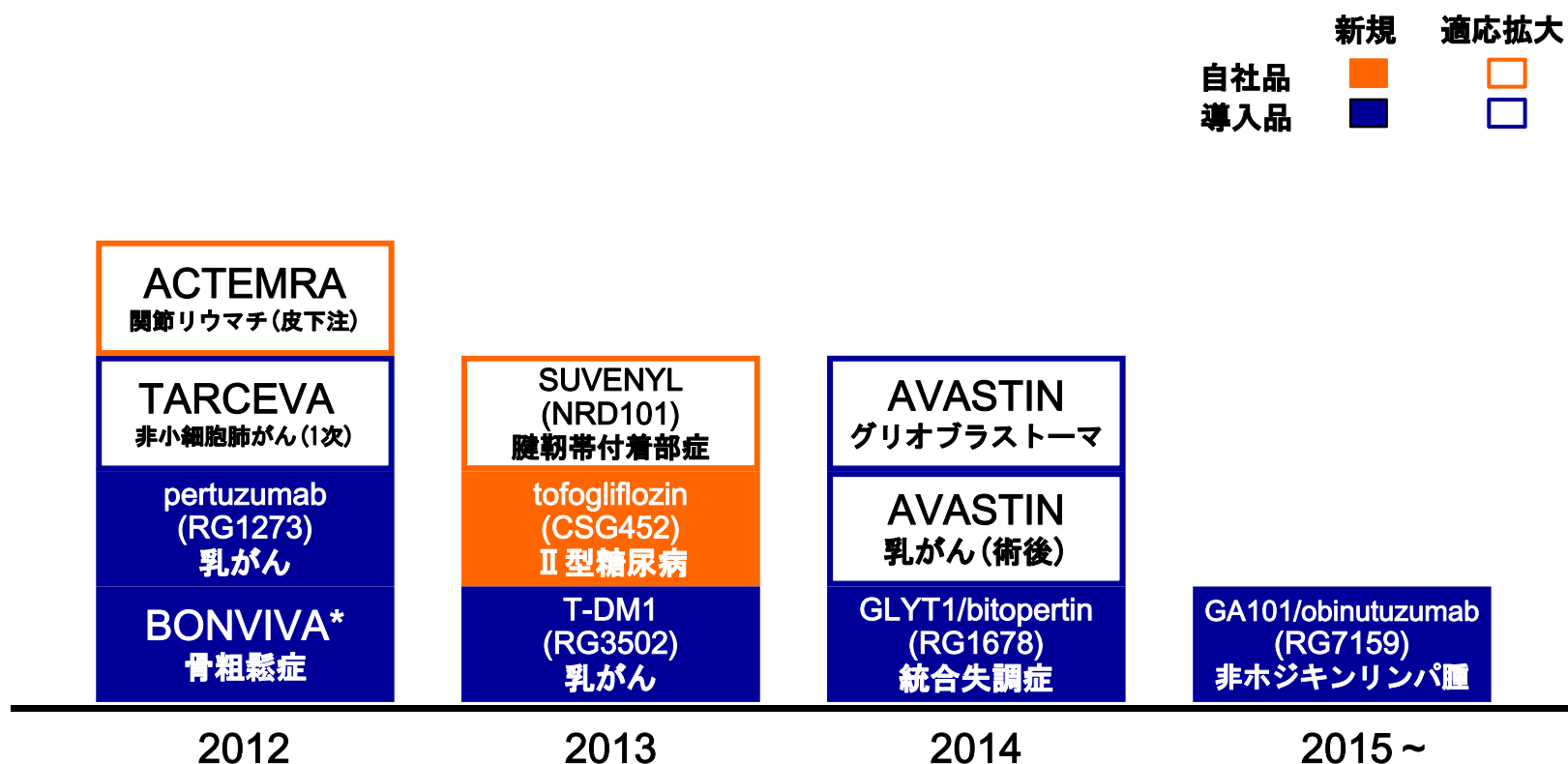
RG7128 (mericitabine)

慢性C型肝炎 開発中止

開発ポートフォリオの優先順位を見直した結果、開発中止

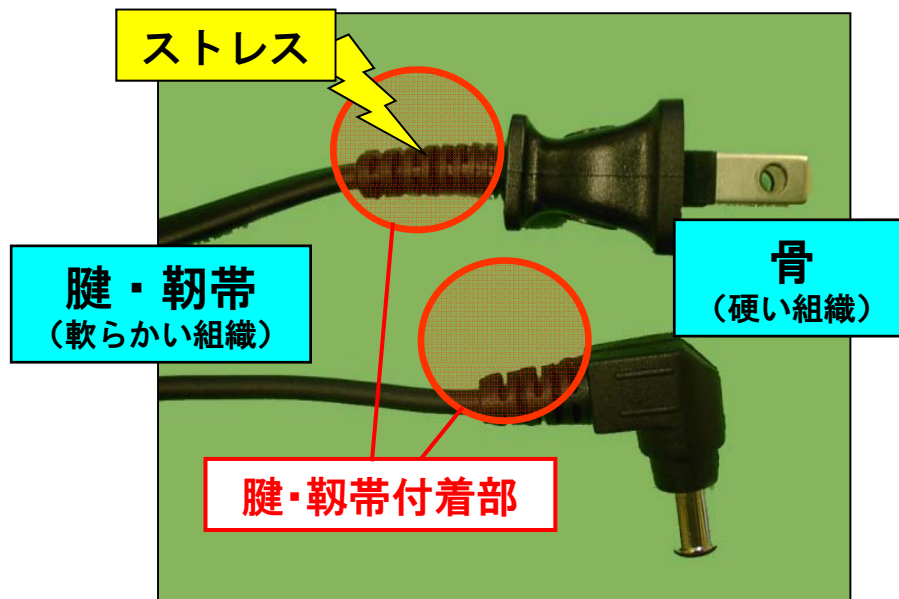
今後の申請予定（PoC取得済製品・開発品）

■ 引き続き毎年、新製品/適応拡大等を申請予定



*海外製品名

腱・靭帯付着部症（エンテソパチー）とは



腱・靭帯と骨のつなぎ目の部分が
腱・靭帯付着部と呼ばれる部位

■ 病因

- 過度の使用
 - ✓ 日常生活（家事，職業）
 - ✓ スポーツ
- 加齢

■ 病態

- 腱・靭帯付着部の変性：
全身の関節周囲に存在し病態は共通
- 代表疾患（4 部位）
 - ✓ 上腕骨外側上顆炎（テニス肘）
 - ✓ 膝蓋腱炎（ジャンパー膝）
 - ✓ アキレス腱付着部症
 - ✓ 足底腱膜炎

■ 症状

- 疼痛と日常生活動作障害

未承認薬・適応外薬の開発要請への対応状況

■ 未承認薬・適応外薬検討会議

医療上の必要性が特に高い未承認薬・適応外薬について開発要請
当社は下記8品目10適応が該当

開発要請	製品	適応症	現在の開発状況
2010年5月21日 開発要請分	ゼローダ	進行再発胃がん	2011年2月承認
	タルセバ	進行再発膀胱がん	2011年7月承認
	アバスチン	進行再発乳がん	2011年9月承認
	pulmozyme	嚢胞性線維症における肺機能の改善	2011年7月申請
2010年12月13日 開発要請分	ハーセプチン	HER2陽性転移性乳がんにおける 3週間1回投与の用法用量追加	2011年11月承認
	ハーセプチン	HER2陽性乳がんに対する術前化学療法	
	セルセプト	小児腎移植	2011年9月承認
	アバスチン	卵巣がん	対応検討中
	カイトリル	放射線照射に伴う消化器症状	2011年12月承認
	バクトラミン	ニューモシスティス肺炎の治療及び予防	公知申請準備中

赤字:2011/7/21からの変更点

お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：広報グループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : pr@chugai-pharm.co.jp

担当：相川、河原、宮田、荒木

投資家の皆様：IRグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : ir@chugai-pharm.co.jp

担当：内田、渡辺、時田、喜多村